

# 第71期

## 報 告 書

2017年4月1日から2018年3月31日まで



## 営業の概況

---

当事業年度のわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等の継続による企業収益の改善に加え、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直し等により、原材料価格の上昇という懸念材料はあったものの、緩やかな回復基調を維持しました。

このような状況のもと、当社は売上・販売量の増加に向けて、新たな事業展開の検討やマーケティング強化策、各種展示会、プレスリリース等情報発信にも引き続き力を入れる等積極的な事業活動に努めるとともに、調達コストの削減をはじめとする収益改善に取り組んでまいりました。

製品の販売状況につきましては、プラスチックダンボール「ダンプレート」をはじめとする自動車関連向け資材や高機能チューブをはじめとする半導体等各種製造装置に関連する資材の販売は好調を維持いたしました。一方、フレキシブル銅張積層板「ユピセルN」は、生産品目を削減したことにより販売が大幅に減少いたしました。また、複合繊維「UCファイバー」の需要が主に衛生材料分野で伸長し販売は増加したため、売上高は大幅に増加いたしました。その他の製品につきましては、製品ごとに増減の大小はあるものの、総じて堅調に推移いたしました。

なお、当事業年度は、岐阜、福島両工場における環境対策費用として5千5百万円を特別損失として計上いたしました。この結果、当事業年度の売上高は133億5千8

百万円（前事業年度比4.9%増）、経常利益が10億7千7百万円（前事業年度比39.3%増）、当期純利益は7億2千6百万円（前事業年度比31.7%増）と増収増益となりました。

### 【電子・情報材料部門】

当部門の売上高は42億4千3百万円（前事業年度比2.5%増）となりました。

光通信ケーブル用資材「コンポーズテンションメンバー」は、光回線サービスの新規加入者数の増加が鈍化し、販売は低調に推移し、売上高は前事業年度を下回りました。

光通信ケーブル用資材「ラセンコンポーズ」は、光通信ケーブルのスロットレスタイプの採用が進んだことにより、売上高は前事業年度を大幅に下回りました。

一方で、省スペース、軽量化のニーズに応えた高密度光ケーブルの需要が国内外で高まってきており、その市場環境に対応すべく光通信ケーブル用識別バンドルテープ「識別糸」の量産を下期より開始しました。

高純度シリカ微粒子「ハイプレシカ」は、高機能樹脂充填剤用途の販売が低迷したものの、電子部品向けギャップ材用途の需要伸長等により、売上高は前事業年度を上回りました。

フレキシブル銅張積層板「ユピセルN」は、生產品目の絞り込みを行ったことにより、売上高は前事業年度を

大幅に下回りました。しかしながら、液晶ポリマーフィルムをベースとしたフレキシブル銅張積層板「エクシラムL」は自動車向け用途の採用が拡大し、ポリイミド・ステンレス積層材「ユピセルC」は半導体製造装置向け用途の販売が伸長しており、売上高は前事業年度を大幅に上回りました。今後もこれらラミネート技術を生かした差別化商品の開発を進め、競争力を高めてまいります。

高機能チューブは、中国、米国、欧州の旺盛な需要に支えられ、主用途である産業機械向け用途の販売が好調に推移した結果、売上高は前事業年度を上回りました。

#### 【機能樹脂製品部門】

当部門の売上高は26億7千6百万円（前事業年度比7.2%増）となりました。

FRP製品は、軽量化および絶縁特性に優位な特長をもつ足場材のリース向け用途の販売が好調に推移したことや海苔養殖支柱用途において買い替え需要の取り込みに努めた結果、売上高は前事業年度を上回りました。

中空構造フィルム「サニーコート」の売上高は前事業年度並みとなりました。今後も柔らかな中空フィルムの特長を生かした新たな需要、用途の開拓に努めてまいります。

#### 【繊維・産業資材部門】

当部門の売上高は64億3千9百万円（前事業年度比5.5

%増) となりました。

複合繊維「UCファイバー」は、生活資材用途の販売好調と衛生材料用途では主に中国での需要が堅調に推移したことにより、販売数量は増加いたしました。更に、原材料市況の価格上昇に伴う、販売価格の是正を行ったことにより、売上高は前事業年度を上回りました。また、二次電池向けの高強度ポリプロ繊維「シムテックス」は、自動車向け販売が採用車種の広がりを受け伸長し、売上高は前事業年度を上回りました。

プラスチックダンボール「ダンプレート」は、自動車向け物流資材用途の販売において、モデルチェンジに伴う需要の取り込みに努め、半導体や工作機械部品等の自動車向け以外の用途拡大にも注力し、売上高は前事業年度並みとなりました。

国内需要の更なる取り込みとシェア向上を目指し、2018年度に向けて、新系列増設による生産能力の増強を進めております。

中空ハニカム構造板「ツインコーン」は、積極的な情報発信、販売促進活動により用途開拓に努めました。3層構造の中空構造板「シングルコーン」はBRT (Bus Rapid Transit) 向け視認材の販売伸長により、売上高は前事業年度を上回りました。引き続き、中核事業とすべく軽量で高剛性等の特長を生かした用途開発を推し進め、拡販に努めてまいります。

## 貸借対照表

(単位：千円)

資 産 の 部		
科 目	当 期 (2018年3月31日現在)	前 期 (2017年3月31日現在)
<b>流 動 資 産</b>	<b>11,864,166</b>	<b>10,397,262</b>
現金及び預金	1,776,373	1,623,400
受取手形	987,926	858,465
売掛金	3,980,565	3,718,931
商品及び製品	1,346,682	1,051,598
仕掛品	244,447	192,228
原材料及び貯蔵品	541,045	498,665
前払費用	23,506	12,919
繰延税金資産	154,289	149,312
未収入金	162,526	151,243
預け金	2,633,232	2,128,427
その他	15,626	14,069
貸倒引当金	△ 2,057	△ 2,000
<b>固 定 資 産</b>	<b>6,499,375</b>	<b>6,613,076</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,620,475</b>	<b>4,506,575</b>
建物	1,193,246	1,211,743
構築物	88,526	84,407
機械及び装置	1,408,223	1,365,246
車輛運搬具	3,934	3,222
工具、器具及び備品	126,219	113,009
土地	1,453,218	1,453,218
リース資産	12,253	14,464
建設仮勘定	334,853	261,262
<b>無形固定資産</b>	<b>35,715</b>	<b>37,202</b>
ソフトウェア	29,067	30,554
電話加入権	6,647	6,647
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,843,184</b>	<b>2,069,298</b>
投資有価証券	294,257	245,424
関係会社株式	40,000	40,000
関係会社出資金	824,517	1,102,014
長期貸付金	2,006	2,744
長期前払費用	3,690	10,114
繰延税金資産	582,650	575,377
敷金及び保証金	48,212	47,573
その他	56,549	54,749
貸倒引当金	△ 8,700	△ 8,700
<b>資 産 合 計</b>	<b>18,363,541</b>	<b>17,010,339</b>

(単位：千円)

負債の部		
科目	当期 (2018年3月31日現在)	前期 (2017年3月31日現在)
<b>流動負債</b>	<b>4,191,117</b>	<b>3,324,150</b>
買掛金	2,644,644	1,807,282
リース債務	5,700	5,108
未払金	824,846	827,845
未払費用	151,825	135,761
未払法人税等	232,005	219,056
未払消費税	84,722	100,475
預り金	28,145	23,295
賞与引当金	219,227	205,326
<b>固定負債</b>	<b>2,255,935</b>	<b>2,253,858</b>
リース債務	7,533	10,575
退職給付引当金	1,905,348	1,904,349
役員退職慰労引当金	28,051	33,450
資産除去債務	40,200	39,299
長期預り保証金	274,802	266,183
<b>負債合計</b>	<b>6,447,052</b>	<b>5,578,008</b>
純資産の部		
<b>株主資本</b>	<b>11,757,301</b>	<b>11,307,061</b>
資本金	2,492,500	2,492,500
資本剰余金	1,725,000	1,725,000
資本準備金	1,725,000	1,725,000
利益剰余金	7,539,801	7,089,561
利益準備金	368,088	368,088
その他利益剰余金	7,171,712	6,721,473
固定資産圧縮積立金	31,321	39,272
別途積立金	3,500,000	3,500,000
繰越利益剰余金	3,640,391	3,182,200
評価・換算差額等	159,187	125,269
その他有価証券評価差額金	159,187	125,269
<b>純資産合計</b>	<b>11,916,489</b>	<b>11,432,331</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>18,363,541</b>	<b>17,010,339</b>

## 損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)	前 期 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)
売 上 高	13,358,883	12,739,360
売 上 原 価	9,507,733	9,187,231
売 上 総 利 益	3,851,150	3,552,129
販売費及び一般管理費	2,946,618	2,864,592
営 業 利 益	904,531	687,536
営 業 外 収 益	220,580	162,339
受取利息及び配当金	12,843	13,297
その他の営業外収益	207,736	149,041
営 業 外 費 用	47,118	75,770
支 払 利 息	26	168
その他の営業外費用	47,091	75,602
経 常 利 益	1,077,994	774,105
特 別 損 失	55,673	—
環 境 対 策 費 用	55,673	—
税引前当期純利益	1,022,321	774,105
法人税、住民税及び事業税	322,596	249,339
法人税等調整額	△ 27,164	△ 26,967
当 期 純 利 益	726,889	551,734



## 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株 主 資 本					
	資本金	資本剰余金	利 益 剰 余 金			
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金		
			固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金	
2017年4月1日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	39,272	3,500,000	3,182,200
事業年度中の変動額						
固定資産圧縮積立金の取崩				△7,951		7,951
剰余金の配当						△276,650
当期純利益						726,889
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						
事業年度中の変動額合計				△7,951		458,191
2018年3月31日残高	2,492,500	1,725,000	368,088	31,321	3,500,000	3,640,391

(単位：千円)

	株 主 資 本			評 価 ・ 換 算 差 額 等	純 資 産 合 計
	利益剰余金	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		
	利益剰余金合計				
2017年4月1日残高	7,089,561	11,307,061	125,269	11,432,331	
事業年度中の変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩	-	-		-	
剰余金の配当	△276,650	△276,650		△276,650	
当期純利益	726,889	726,889		726,889	
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)			33,918	33,918	
事業年度中の変動額合計	450,239	450,239	33,918	484,157	
2018年3月31日残高	7,539,801	11,757,301	159,187	11,916,489	

## 会社の概況 (2018年3月31日現在)

■商 号 宇部エクシモ株式会社

■設 立 1966年2月22日

■資 本 金 24億9,250万円

■発行済株式総数 25,150千株

### ■主要な事業内容

<p>電子・情報材料 部 門</p>	<p>ラセンコンポーズ (光通信ケーブル用資材) コンポーズテンションメンバー (光通信ケーブル用資材) ハイプレシカ (液晶ディスプレイ用スペーサー) ユピセルN (フレキシブル銅張積層板) ユピセルC (ポリイミド・ステンレス積層材) エクシラムL (液晶ポリマー基材) 識別糸 (光通信ケーブル用識別バンドルテープ) 高機能チューブ (産業機械用等各種チューブ) フィルター (エアフィルター) その他情報材料、電子材料の製造、加工、販売</p>
<p>機能樹脂製 部 門</p>	<p>ダンポール (農業用FRP支柱) コンポーズパイプ (水産用FRP支柱) コンポーズバタ・足場材 (建築・仮設資材用FRPパイプ) サニーコート (中空構造フィルム) ダンライン (水産・船舶用ロープ原糸) その他機能樹脂製品の製造、加工、販売</p>
<p>繊維・産業資 部 門</p>	<p>UCファイバー (紙おむつ等衛生材料用複合繊維) シムテックス (電池セパレーター用繊維、コンクリート剥落防止用メッシュ) ポリプロ繊維 (カーペット・フィルター用原糸) シムロック (コンクリート用補強繊維) ダンプレート (プラスチックダンボール) ツインコーン (中空ハニカム構造板) その他機能繊維製品、産業資材の製造、加工、販売</p>

## ■事業所

本 社 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町9番19号  
大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島1丁目6番20号  
営業所 名古屋営業所（名古屋市東区）  
福岡営業所（福岡市中央区）  
宇部営業所（山口県宇部市）  
工場 岐阜工場（岐阜県岐阜市）  
福島工場（福島県郡山市）  
研究所 中央研究所（岐阜県岐阜市）  
先端繊維研究所（福島県郡山市）

■従業員数 334名

■ホームページアドレス <http://www.ube-exsymo.co.jp>

## 役員（2018年6月20日現在）

---

代表取締役社長	高橋俊充	※社長執行役員	高橋俊充
取締役	小塚健次	常務執行役員	井田洋治
取締役	泉原雅人	常務執行役員	石井徳
常勤監査役	内藤憲一	執行役員	安村守人
監査役	石川博隆	執行役員	仲山典宏
		執行役員	高田隆久
		執行役員	関谷博

（注）※は取締役との兼務を示しています。